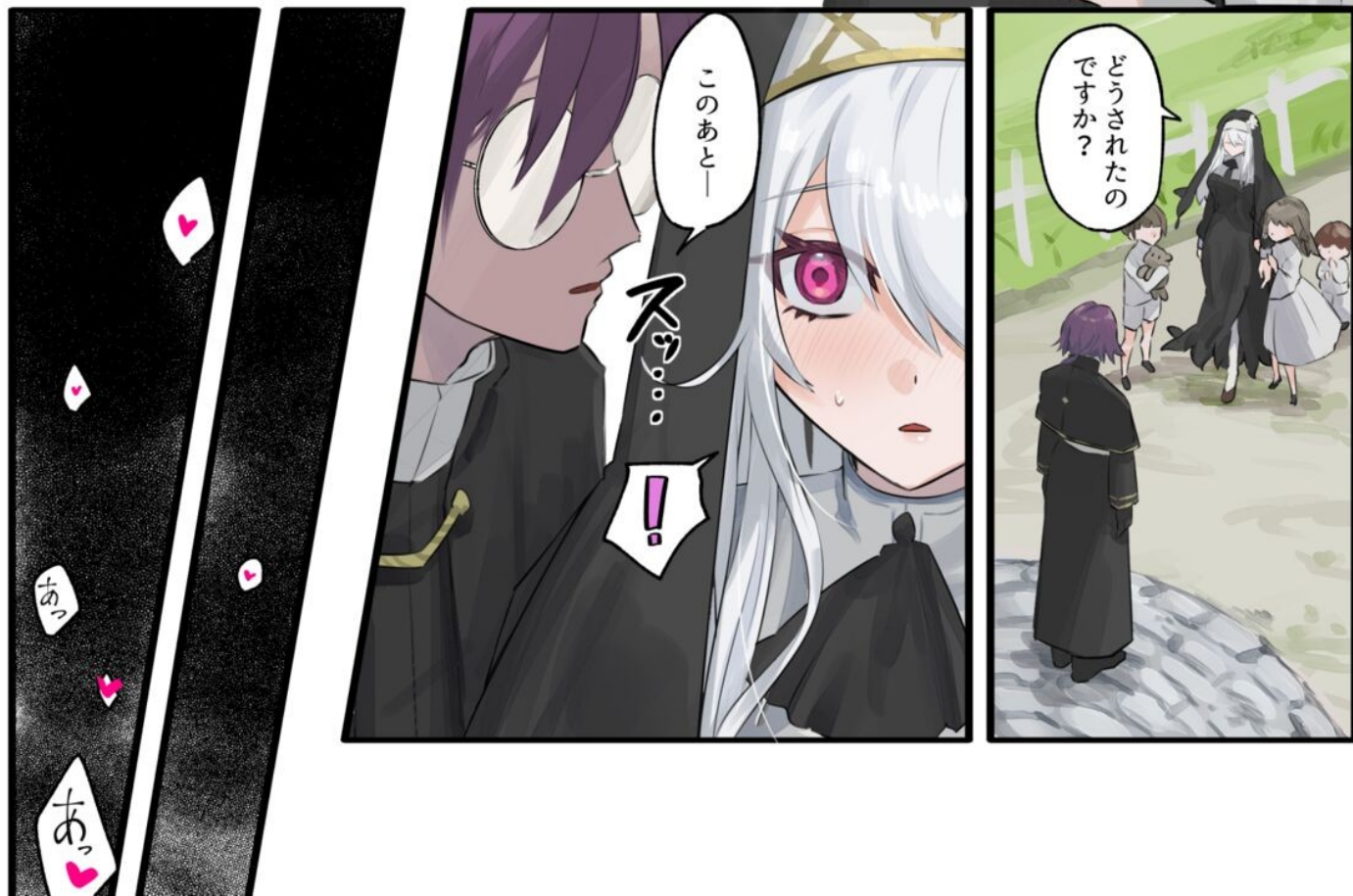
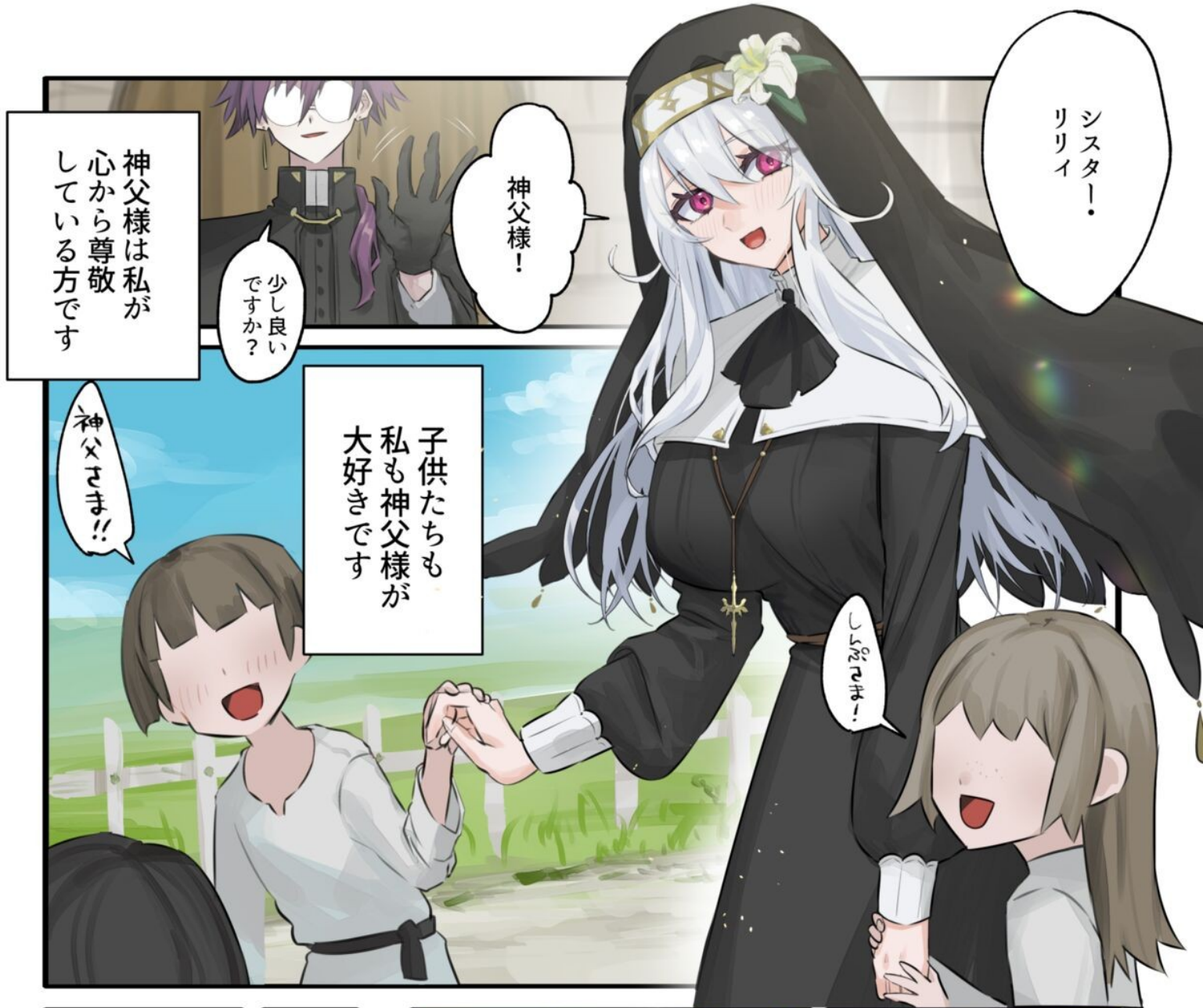






神父様っ…

こんなに
はしたなく
濡らして……

だめ…腰が
揺れちゃうっ

昼間は教会の
お仕事をお願いを
されただけで

全くこんな事には
なりませんでした

貴方の身体は
主のものでしよう

この様な修行の
足りない身体では
主はお怒りになられます

当然です
神に仕える
身ですから



いけないと
分かっている
毎夜身体が
火照ってしまうのです…

主よ
淫らな妄想を
してしまう私を
どうかお許しください…

声小さく
しないと
隣に聞こえ
ちゃう



また昨夜も
淫らな妄想を
してしまいました…

何か悩み
事ですか？
シスター・リリイ



し、神父様！

ふっ！

驚かせて
しまいましたね
すいません…

最近の貴方は
少し物憂げな
様子でしたから
気にしていたのです

ちかい…

お…
お忙しい神父様の
時間を割いて頂く
程の事では
ありませんから…

とうか
絶対に言える
ですが…



……



ですが…



悩める者を
導くのが
私の役目ですから

いつでも
頼って
くださいね

はっ！

しんぷさま!?

えっと…
では、その…

では

夢想の中の私は
どう触って
いたのですか？
シスター・リリイ

その日は
神父様のお手に
初めて直接触れました

毎夜こんな事を
考えていたなんて
神の花嫁としての
自覚が無さ過ぎます

や、優しく
さわって

頂きました…

ごめんなさい
あゝごめんなさい

すり…

聖堂の中で
こんな
淫らなこと…

すみ…
神父さま

たまに
強く…

こうですか？

もっと
修行に
励みましょう

いつもしている
手袋は汚れていたとかで
外していらつしやいました

神父様の手を鮮明に
思い出せます
骨ばった
男性的な手でした

私ったら
神父様の
お気遣いを

でも手が
とまらない

私の馬鹿

す、すみません
女性に気安く
触るなど…

実際の2人…

いいえ！

お許しを…

お察しして
お詫言います

好き、神父様
大好き、大好き

大好き、大好き

本日は私以外の
修道士達は
島外でのお仕事です

島内のお仕事を
一人でがんばります

というわけで
聖堂のお掃除
からです

一人なら歌の
練習もできますね

大きい声を
出すのは子供の頃から
苦手なのですが…

前に
神父様は
確か…

お腹から声を
出すことを意識
しましょう

貴方の声は
美しいのですから
神に届けなければ
もったいないです

お腹に
力ですよ

と…おつしやって
いましたね

お腹に力…

聖堂ってやっぱり
凄く声が響いて…

なんだか
恥ずかしいし…
少し怖い

なんて言って
いられませんよね…

すう



だめですっ
こんな…

聖壇の上で
だなんて…

いつもより
大きな
声出てますね

シスター・リリイ
その調子ですよ

あう

ふー
うん

うん

ほ

はあ

ん

いつもより
声出ちゃう

気持ちいい…

うめうめ
本当にうめです

しっかり声を
出して
貴方の美しい
歌声を主に聞いて
頂きましょうね

ふ

びく
びく

おう
うん

うん
うん

うん
うん

うん
うん

うん



こんな
訓練あるわけ
ないのに…

私の馬鹿…

この夜の自慰も
とても捗った

※仕事は
しっかりやった

今日は皆さんの
シーツを洗う日です

神父様のも
わたしが洗わせて
頂いております

神父様のシーツ…

こんなの…
絶対ダメ

人として…
ぜったい…

ス



は…

ドキ

ドキ…

ドキ

ドキ…

これは修道院内で
働く人がわたし
しかない

この時間だけの
誰にも知られては
いけない秘密

ミサで嗅ぎ
なれた乳香と

知らない香り

わたし、神父様の
部屋で――

神父様の
ベッドで

ふ、

ドキ
ドキ...

すごく
悪い事を
してる...

んう

...

ぬちゅっ
ぬちゅっ

くちゅ
くちゅ

ぐちゅ

すき
すき
すき
神父様
大好き
大好き

これが
神父様の香り

どうか
お赦しください
この一回...

一回だけ
ですから

なんて
神父様の部屋で
出来るわけないので

今日も自室で
してしまいました...



今日は修道院の
古い倉庫のお掃除です

狭い場所に神父様と
二人きりでとても
どきどきしています

神父様と
シスター・
リリイだ

神父様
シスターとえっちな
事してたんでしょ！

ごい！
掃除をしていた
だけです

私たちは
聖職者なのでから
そういった事は
しないんです

ふうん
つまらないの
いこうぜ

先程はすいません
私の威厳がないばかりに
子供たちに揶揄われて…

そんな

えっと…

緊張すればするほど
声が小さくなつて
しまいます

そんな時、神父様は
近づいて話を
聞いてくれます

や、優しくて

親しみ易い
ところが

神父様の…
よさだと

おもい…
ます…

それが
恥ずかしくて
うれしくて

頭がぼおつと
してしまいます

あつ
だめ
はなぢでちや

シスター？
リリィ？

シスター!!?

フ
ラ
ッ
ッ

転倒しそうになった
わたしを神父様は優しく
受け止めてくださいました

だ、大丈夫
ですか？

だいじようぶです

ふらついて
しまつて

少し休憩
しましょう

はひ…

卑しくも
神父様の温もりを
感じてわたしの胸は

はち切れん
ばかりに高鳴り
続けていました

子供たちの楽し気な
声が遠くに聞こえる中

それでは
告解を始めて
ください

はい
実は…

今日は告解室で
神父様のお手伝いです

神父様はあまり休む
時間がないので
お仕事中に
出来る事をします

神父様の
もうこんなに
立派に…

これもシスターの
立派なお仕事です

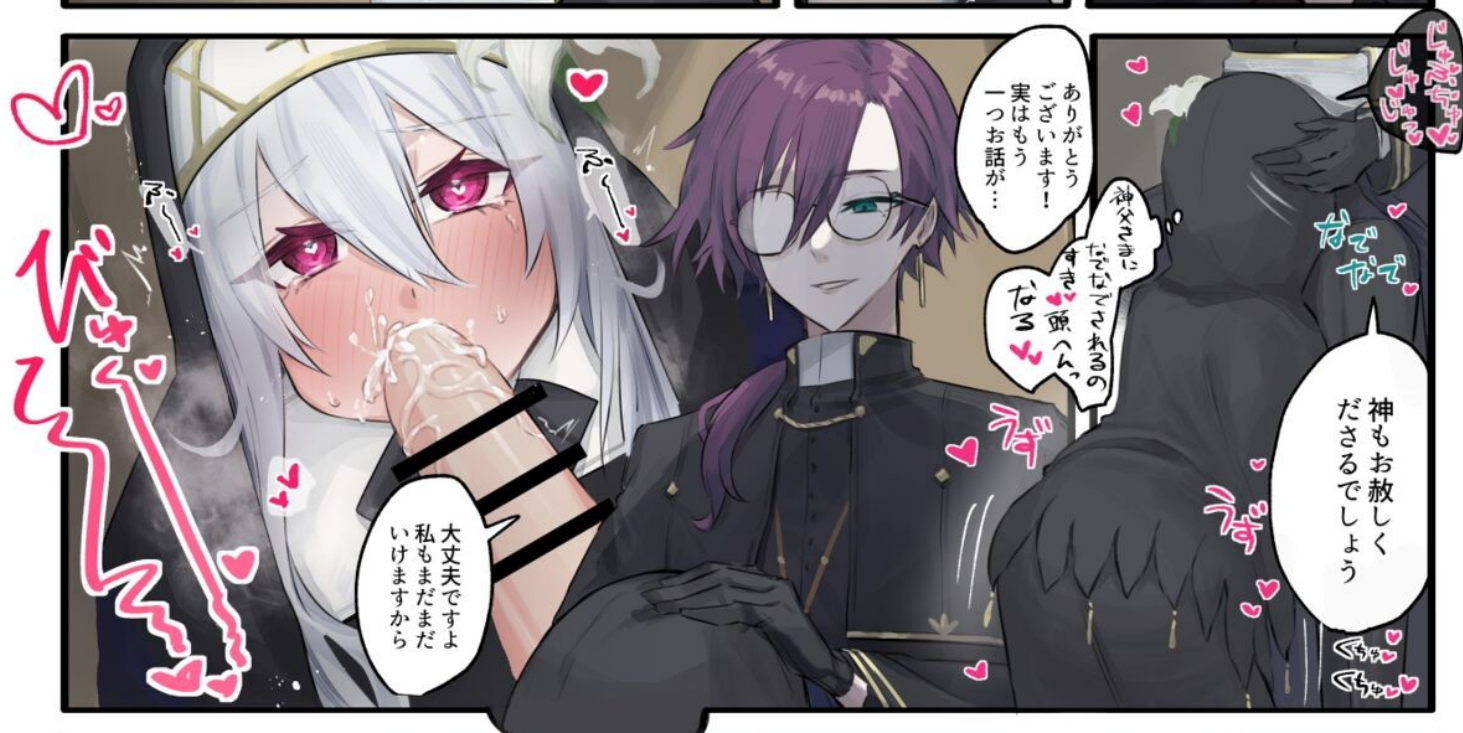
神父様の
香り…

なるべく
音を立てずに

気持ちよいの
でしょうか…？
そうだと
良いですが…

きゅんきゅん
きゅんきゅん

きゅんきゅん
きゅんきゅん





それでは、朝のミサは
これにて終わりですが
一つ、本部から連絡事項です

本土のジェヌ大修道院で
神父を誘惑した
シスターが異端審問に
かけられたとの事です

皆さんに於きましては
聖域の修道士として
その名に恥じぬ行いを
心がけてください

説得力…

無意味な
事だ…

早く
やめな
いかな

誘惑されてない
のにねまにならぬ
人がんか
……

世界の平和の為に
わたし達に教えを
解いてくださる

慈愛に
満ち溢れた
優しい殿方

そんな
神父様のご迷惑に
ならないように…

しっかり
しなきゃ…

今日も神父様は
とても素敵です

リリース、
大丈夫？

シスター・
ペチュニア

大丈夫
ですよ？

お花が
見たくなつた
だけです！

今日も
お仕事頑張り
ましょう！

そうね

神父様に恋をして
叶うなどとは

わたしは欠片も
思っていない

これは神が
与えたもうた
試練と祝福なのです

神の花嫁になると
決めた時には

人を好きになると
こんなふうに

胸が苦しくなる
なんて

未熟なわたしは
知りませんでした

先代の神父様と
シスター・リリイに
導かれてから

あなたの
特別な
素養は

神の花嫁に
ふさわしい

信仰を守り
継承する事は
世界の平和に
繋がります

それがわたしの
運命なのだと
わかっているの
ですから



わたしをこの島に
置いてくれた
先代達の恩義に
報いるためにも

あ

ふー

ふー

はっ

それに、信仰によって
昔のわたしの様な
子供が減るのなら...

胸だけで
こんな...

ト...

今日はもう
ちよつとだけ...

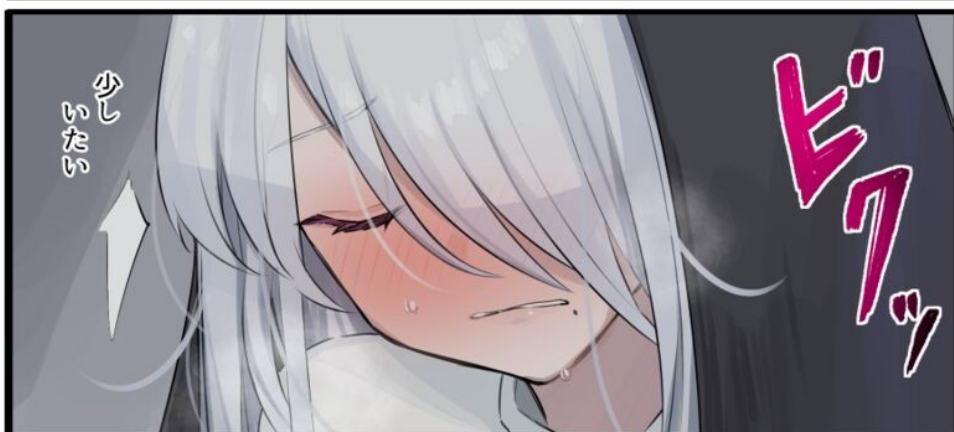
ふー

わたしは

ごめんなさい

シスター

神父様



ドクッ

少し
いたい



こ...

触れたことの
ない場所



どうか

あなたを
頭の中で
想う事だけは

しゅんま

あ

ん



仕方ない子ですね
シスター・リリイは

私が
欲しいとは

こんな事、神父様は
絶対におっしゃいません

わかって
いるのです

ですが
こうでもしないと
わたしは

絶対に
好きだなんて

あ
ぐっ

ほっ

ほっ

あいてます
すぎです

ううん

ごめんない

言いませんから

すみ、すぎです
お慕いして、
おきます

神父さま

ううん

ううん

ビッ

ビッ



あ

はっ

っ

神よ
この想いを
断ち切るまで

どうか
愚かなわたしに
少しの慈悲を
お与えください

あ

あ

修道院製の葡萄酒は
修道士たち自ら葡萄を
栽培し製造します

わたしは相変わらず
あまり外仕事は
できませんが…

そのかわり
休憩用の飲み物と
お菓子をお渡しして
回ります

わざわざ畑まで
運んでくれて
有難うございます

わたしは
これしか
出来ないの

そんなこと
ないですよ

神父様に促されて
座って
しまいました
緊張します…

神父様の腕
かっこいい

それと少し
汗の香り…

好きなものが
全部かかると
見える年頃…

素敵です…

あ、汗臭い
ですね

えっあ
ち、ちがくて

まって
ください！

その…
神父様を

汗臭い
だなんて

思って

ないです

むしろ…
その

良い、香り…で

シスター・リリイ…



シスターも
少し汗ばんで
きましたね

よう

はずかし

私だって
恥ずかしかったのに
貴女だけ嗅ぐなんて
ズルするからですよ

スリスリ

ごめん、なさ
あつ

神さまの
当てる

意識して
体あつくしちゃ

あ、神父さま

ススス

だめ

タイツの上からでも
ここがどうなってる
のか良くわかりますね

くちゅ

良い香りが
しそうです

まだ仕事
がありますから
またにしましょう



良い香りだなんて
言ったら変態って
思われちゃい
ますよね…

全然！全く！
そんなことないので
気にしないでください！

こ、コップ！
飲み終わったら
その辺に置いておいて
ください！
また取りにきます！

え？あつ
もう飲み
終わって

シスター？

この日の夜は
昼間の続きの
妄想でいっぱい
気持ちよくなっ
てしまいました







温まって
きましたね

神父、さま♡

くださっ

あ、
抜いてっ

神父様の
この後の仕事の
ためですから

遠慮なさ
らないで
ください

たん♡
たん♡
たん♡
たん♡
たん♡
たん♡

たん♡

は♡

ほ♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

たん♡

このままでは
中につ...



だめでき!!

あたしの

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ



だめでき!!

あたしの

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ

くたさ



お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

神父がっ

神の花嫁を
穢すなど

ビク

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

神父様に
使って頂いた

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

礼拝堂から帰ってきた二人...



絶対だんか
あた!!と
にっりのニム



1/7...



もう成人ですのに
雷怖さに抱きつく
など...直さなきや...

という
事はなく

修道院の書庫では
知らないことを沢山
知れて楽しいです

今日は皆さんの
役に立てるように
シスターの歴史を
勉強します

〇〇年前のシスターの
異端審問のかけ方…?

こわい内容ですが
身を引き締めるには
良さそうですね…

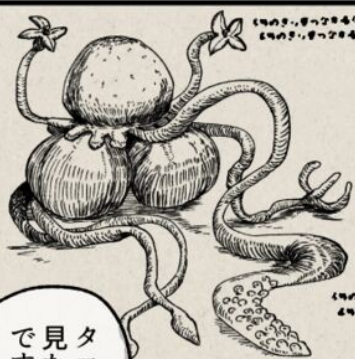
神父が教会が管理する
触手呼び出し、シスターと
疑似性交をさせます

ぎんぎん
セニラ
!?

シスターが絶頂
する事があれば
悪魔崇拝者です。

この時に呼び出される
触手生物は以下の
図の様なものである

これが
触手生物
さん…?



タコの様
な見た目の
ですね…

もうどの位
時間がたったのか
わかりません

視界を奪われたまま
執拗に胸を揉まれ
先端を弄ばれて…

あとの位
続くのでしょうか

神父様まだ見て
いらつしやるの
でしょうか

これ呼び出して
から暫くお声を
聞いていません…

も限界です
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい

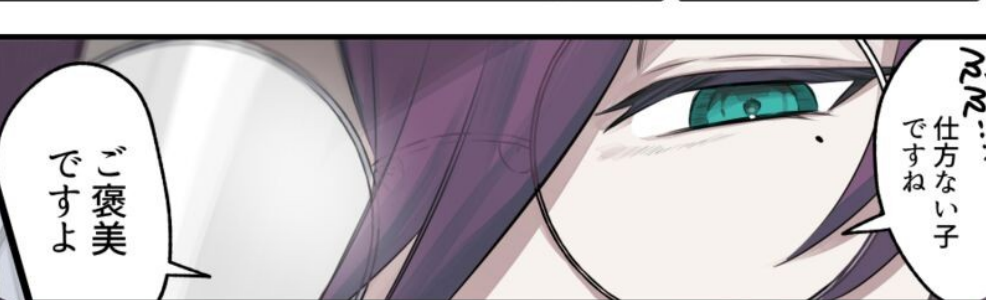
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい

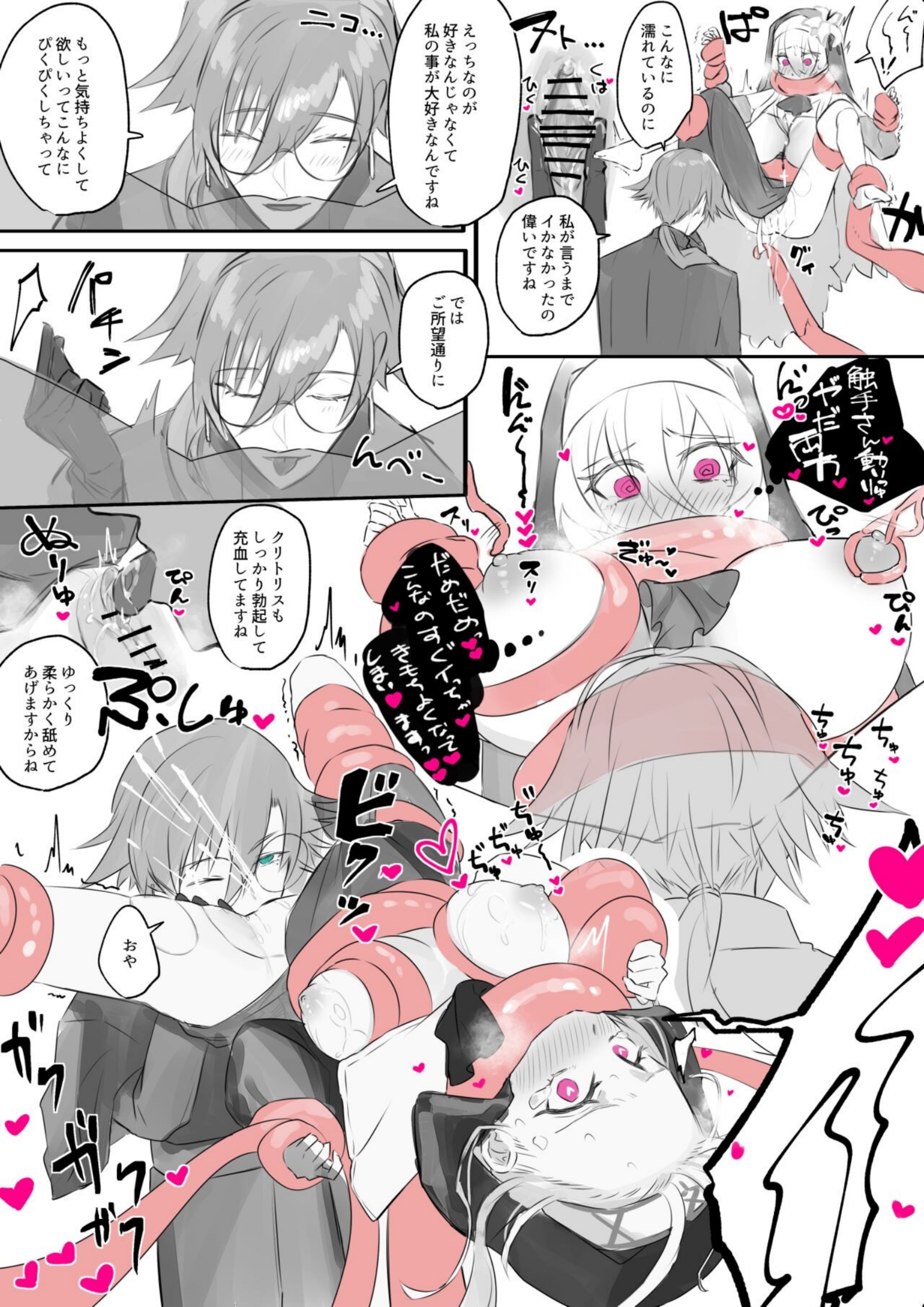
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい

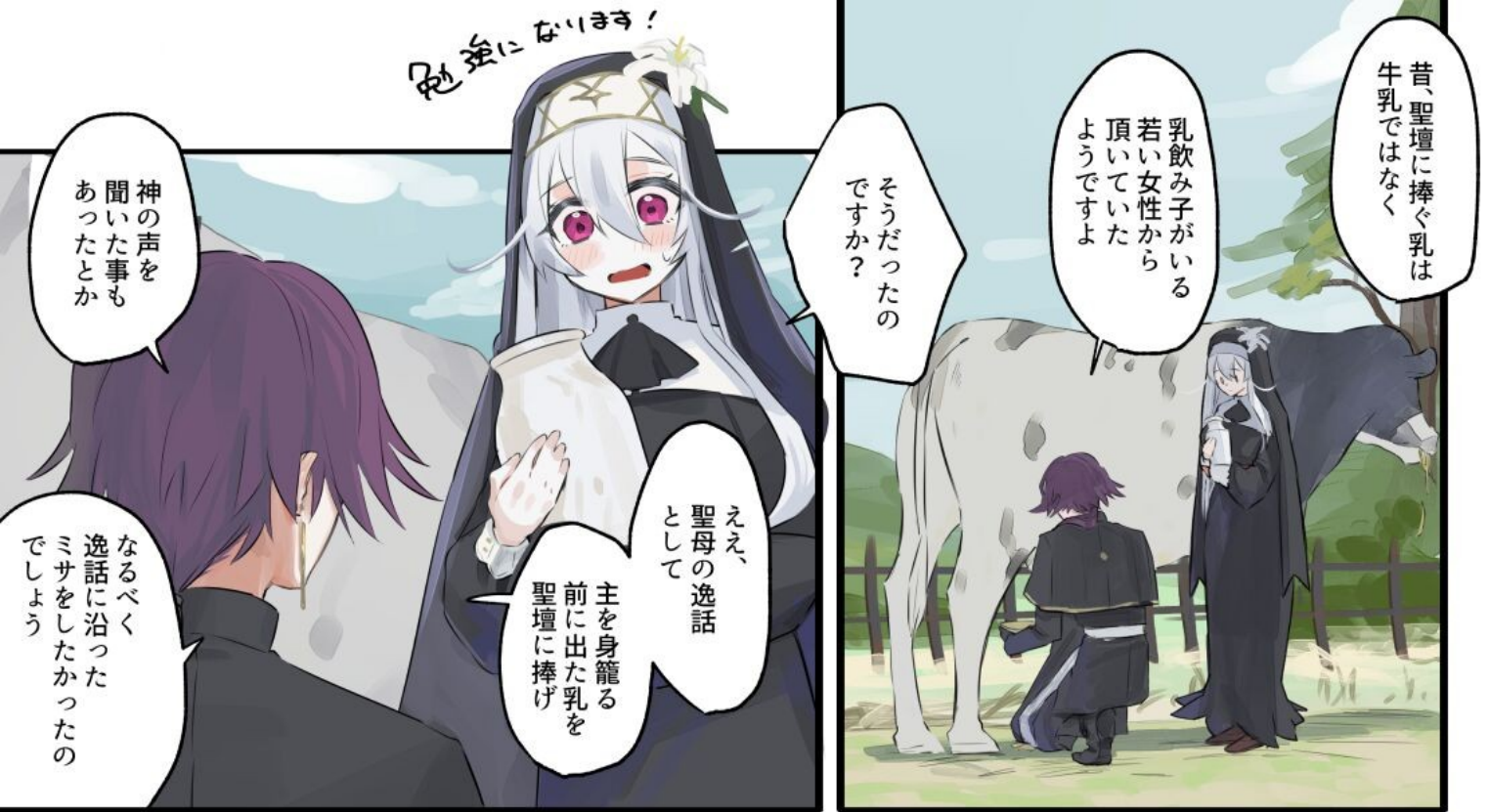
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい

イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい

イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい
イキたいイキたい









今日は島の
皆で作っている
葡萄酒の完成日です

お酒は不慣れたのど
グーずず...

ご褒美として
少しですが
皆でお酒を飲みます

神父の事
見てたでしょ

みてません

抱きついて
きちゃえば？
酔っちゃったって

そしたらもう
なし崩しの...ね

な、なしくずし

楽しい？

リリイ

シスター！
セントウレ！

人間の
大人は大抵
やってるわよ

.....

神父様も...？

いいえ神父様は
そのようなお方では
ありません！

あ

ぐびっ!!

ちよ、ちよつと
リリイ！

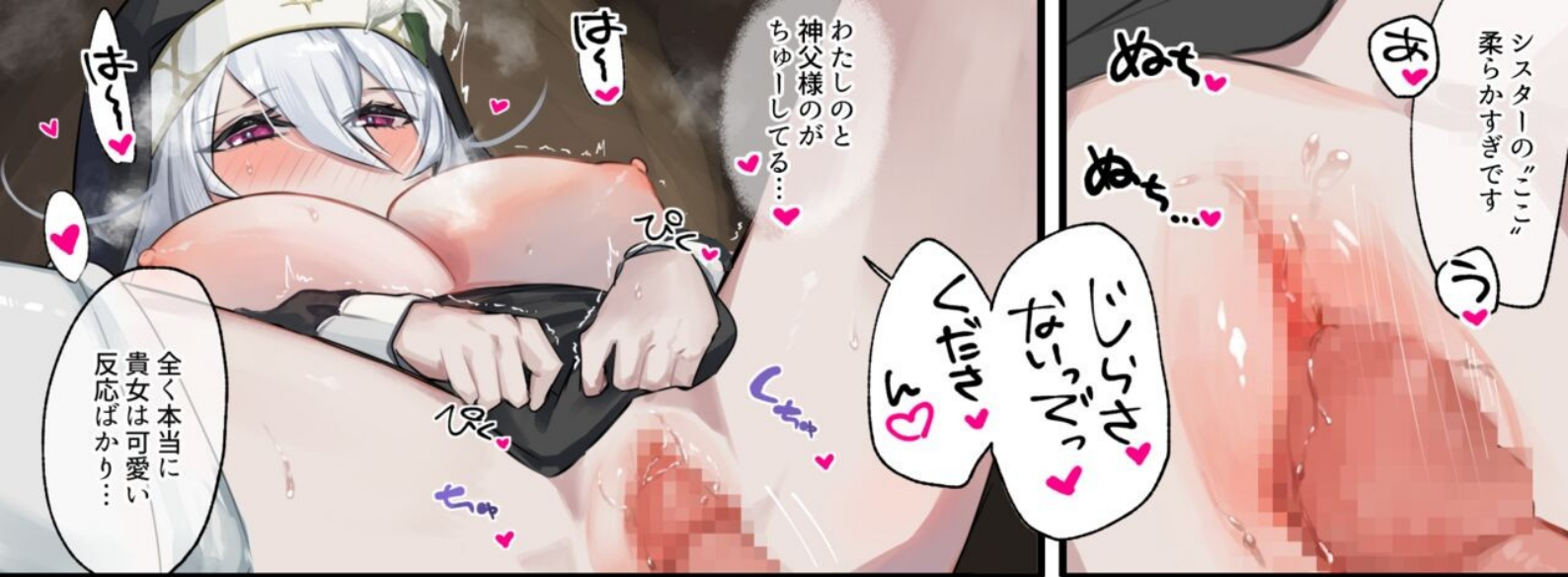
え？

シスター・リリイ！
大丈夫ですか!?

セントウレ！
あんたさつき何か
吹き込んだでしょ

あたし!?





シスターの“ごこ”
柔らかすぎです

あ

う

ぬち

ぬち...♡

じらさ
ないぞっ♡
くたさ♡
ら♡

わたしのと
神父様のが
ちゅーしてる...

はー

はー

全く本当に
貴女は可愛い
反応ばかり...



お望み通り
差し上げますよ

こんな
焦らされたら

挿れられた
瞬間につ

だめに
なっちゃう

あ

ちか

ちか

ドド
キュー

ズン



リリィが倒れたあと、片付けするからシスター達に座って面倒見てろと言われた神父





昼間のでは

さつきから
乳輪ばかり
なでなで

さきつぽ
なで欲しい
じんじんします...

なでなでし
足りなかった
んですね

子供たちの前で
我慢出来て
偉いです

大人と
して...

教会に属するもの
として示しが
つきませんからね

あっ...さきつぽ
かりかり
する時の指...

あれ
見て、だけで

?

お
お

はっ





触るか
触らないかの

すりすり...
気持ちいい...

すり...

すり...

スワ...

...



最初から...

起きて
いましたね？

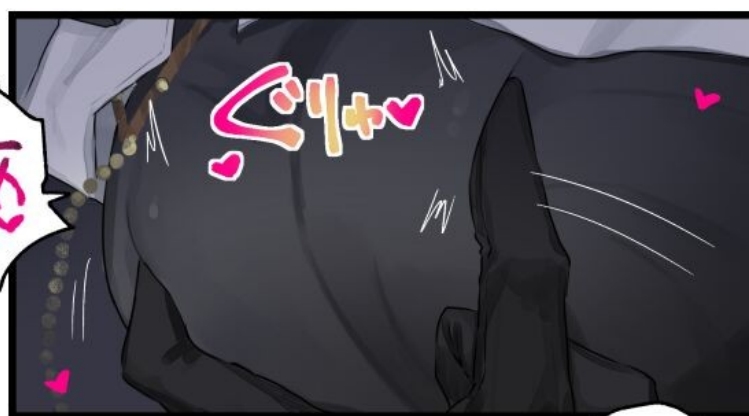
あ

ほー

ほー



声出したら...
気持ちいいの
おわっちゃう



私に触って
欲しくて
欺こうと
するなんて



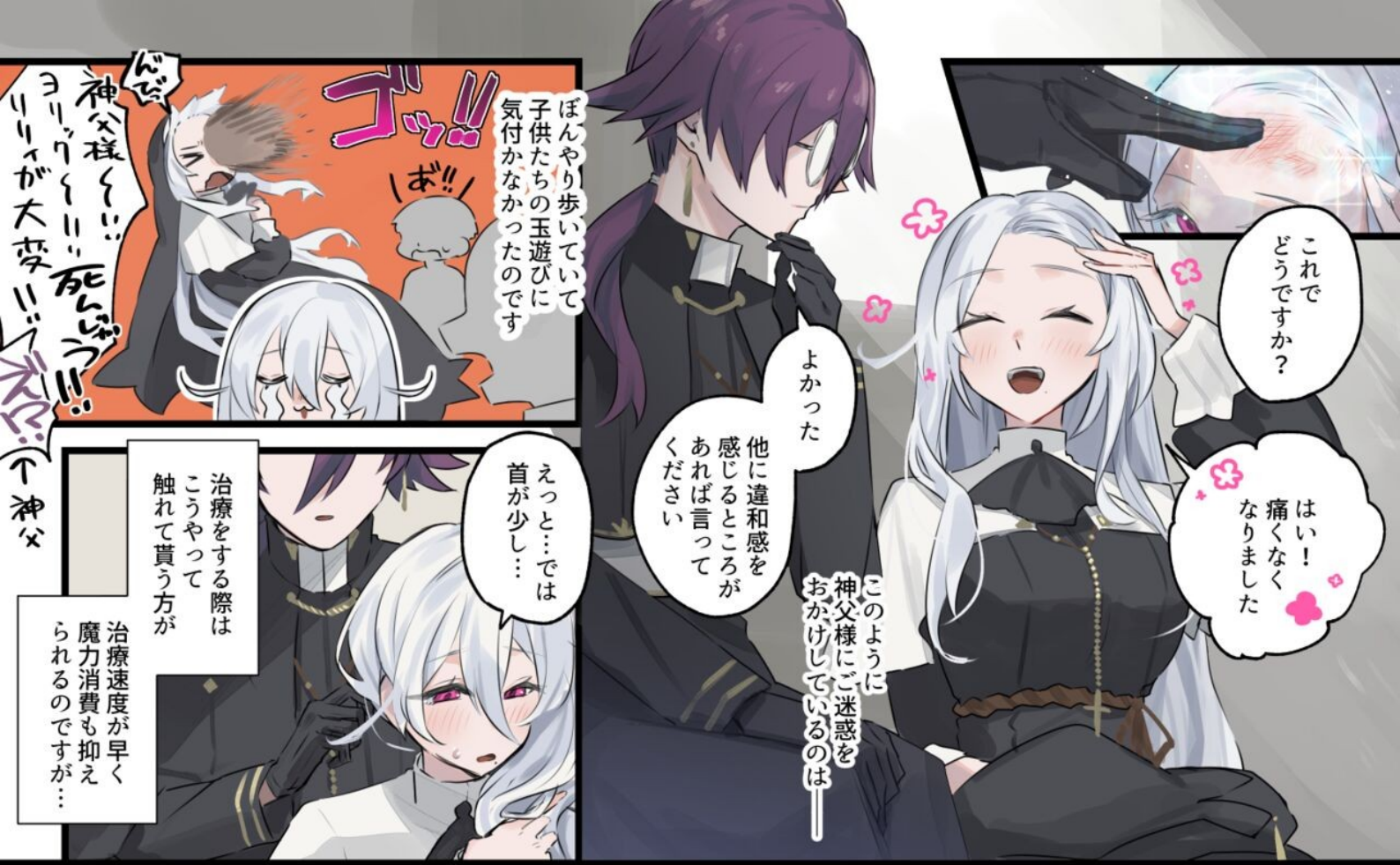
私が触れる
度に睫毛が
震えて...

耐えるように
唇に力が
入っていて...

悪い子
ですね

んっ...

んっ...





※ヨリック:島医者でリリィの事を妹の様に可愛がってる人

島には礼拝堂が
点在しているのですが
その一つにある噂が
たっています

何か話声の
様なものが
聞こえますね

子供達が幽霊だと
怖がっていたので
調査に来たのですが…

あ、あの

し、神父様!?

一旦
離れましょうか

貴女は
知らなくて
良い事ですょ

最近、民家同士が
近すぎて
ブライベートがないと
苦言を呈してる若者が
いましたから…

出てくるまで
少しだけ様子を
見ましょうか

夜道を貴女
一人で帰らせる

訳には行きませんし

はい…

わたしが
何も知らない
思ってた耳を
押さえてくれた…

わたしは
神父様の
そういう所が…

神父様の立場
からしたら
気まずい
ですよ…

せめて何か
癒して差し上げ
られたら…

心なしか緊張を
されている様な…

いつもの
神父様

ずっと好きだった

リリイ、好きだ

シスターになっただけも諦められなくて

そんな想いを告げたのは数日前

神父様
おはよう
ございます

おはよう
ございます

おはよう…
リリイさま

数か月前に
聖都から
やってきた

胡散
臭い奴だ

この時間は
確かこっちで
仕事…

世間知らずの
リリイは
きつと騙される

俺が手伝って
あげないとー

…
神父さま

なん？

は…

ちゅ♡

ほ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

っ♡

きゅ♡

びゅ♡

テオ (ティベリオ)

次の神リリに出てる
BSS タイプの男の子です。

12才くらい

151cm (リリより1cm高い)

大人びてる (背のびしてる)

リリの事は何でも

分かる面してるかわいいやつ。

赤子の頃に島にきた。
戦争孤児。リリの事が物心ついた
時から好き。最近リリが神父を
よく見てるのは気付いて内心焦ってる。



神父さん

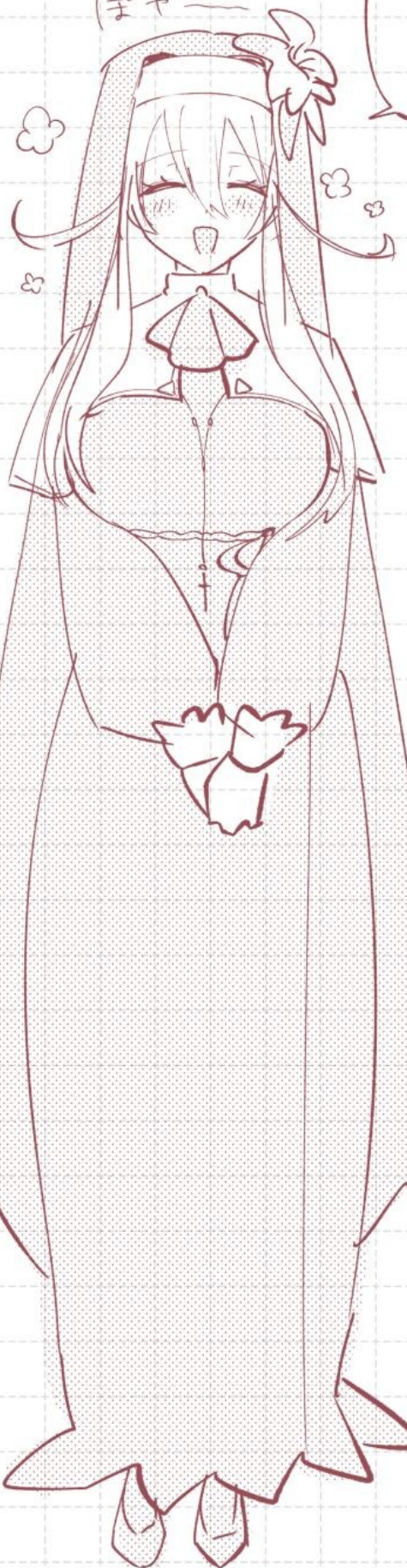


リリより1cm高い

リリは俺が
守るさ...



ほやー

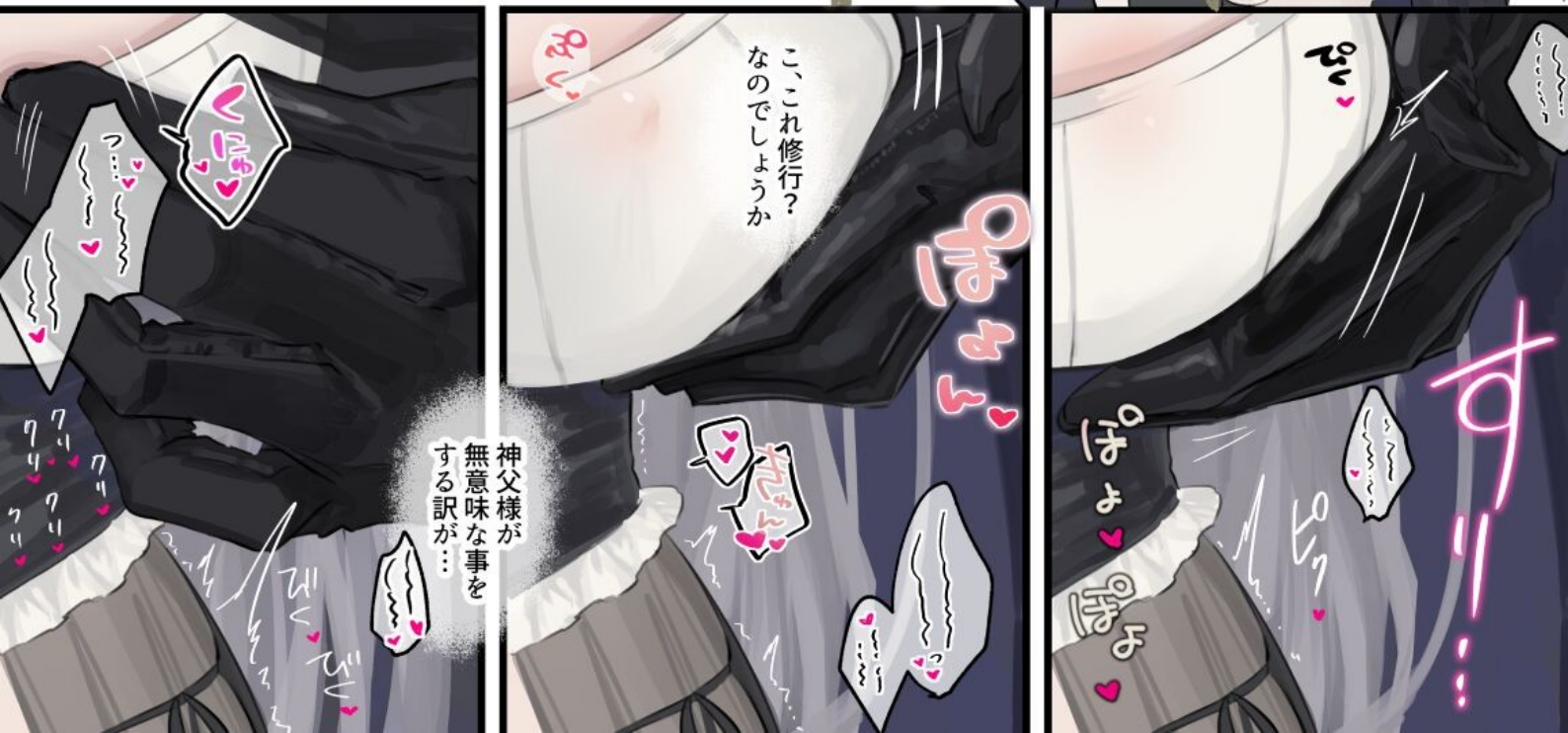
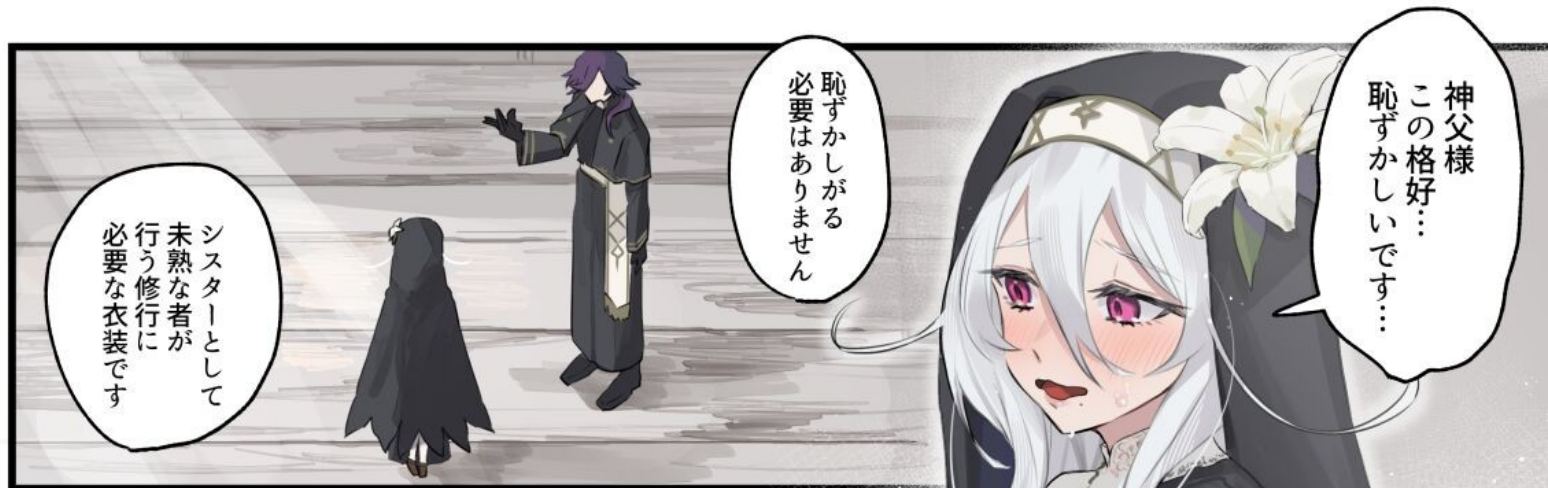


あ、神父様!!

•子供扱いするな。
俺の方が身長高くなったんだけど？
と言いたいけどそういう発言こそ
子供っぽいから言いたくない。

•口数はあんまり多い方じゃない
そっちの方が大人っぽいから

•リリがシスターになるのを唯一
賛成しなかった。





貴女なら
できるはず
ですよ

神父様の
声が...
おなかを
刺激して...



感じちゃだめ
なのに...



我慢して
くださいね

きもちいいの
溜まって
いっちゃ



最後まで読み
上げられる様に
尽力致しますよ

ああ、最初から
頑張りますわ

乳房を触られた
だけで潮まで
噴くとは...

ごめなさい
まだ修行が
足りない証拠
ですね

おや...



という
修行方法が
ある

なんて空想の
お話の本を読んで以来...
脳にちらついて
しょうがありません

自室でのお祈りに
集中するため
一度気持ちよく
なってから

最近はお祈りに
望んでいます...

最近の神父様は
心なしかお疲れの
様に見えます

具合をお伺い
しても大丈夫の
一点張り

ご心配なさらず

シスターでは
神父様の仕事を
肩代わり出来ない
事も多く、歯痒さを
感じています…

というのを
相談した所――

どうしてもって
いうなら

んー
じゃあー

膝枕とかして
あげたらあ？

ひ、ひざまくら!?

人間の男は
みんな大好き
なんだから！

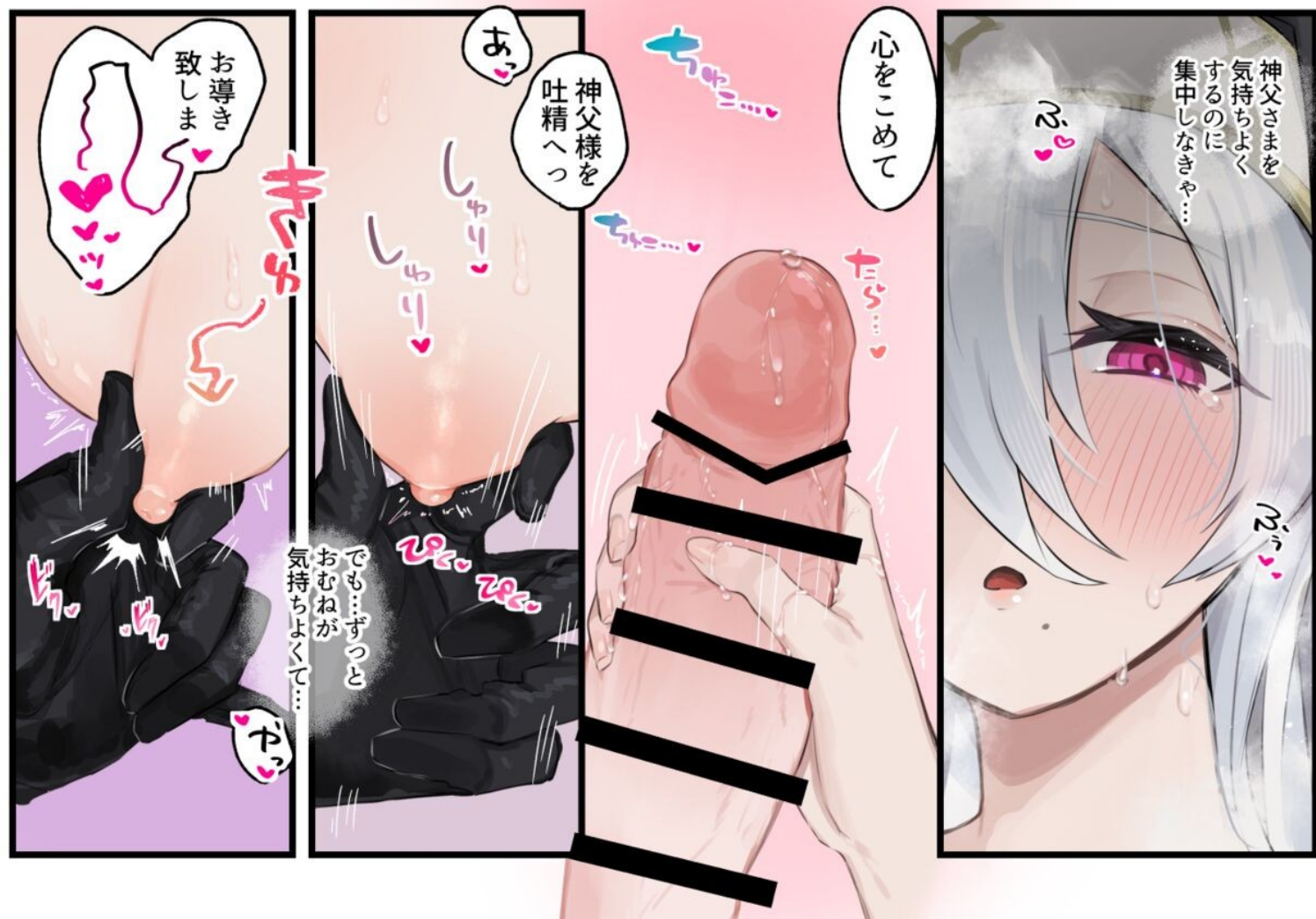
※諸説ある

シスター・セントウレの
言う事はみんな鵜呑みに
しちゃだめって言った
のですが…

でも…

どきどき

どきどき



だめ、これじゃ
わたしが気持ちよく
なっちゃう♡

し、神父様
よろしよし…♡

ん…
おむね
美味しい
ですか？

ええ、とても
美味しいですよ

そのまま
摩り続けて
ください

はい♡

神父様の
すごく
かたくて
熱い…

これなら
ちゃんと
ご奉仕が出来



きもちいいの
さちやう♡

あ♡

これで終わりじゃ
ないですね？

ち♡

なんて
いうのは
冗談で…

いつも通り
何か好きなご飯でも
作ってあげなさいな
リリー？

あ、はい！！

